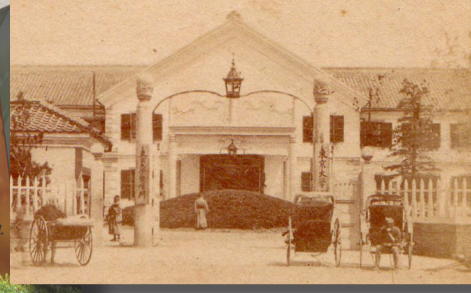


本格的な建築保存を期待する

ドイツの中世の如き街を見て驚くのは、第二次大戦の爆撃で瓦礫と化したのを市民が1つずつ拾い集め、復元したという史話だ。千代田区の「名建築を保存し、その上に超高層を建てた」と称する建物がやつつけ仕事の「壁貼り付け」にしか見えないのは、市民の関心と監視が不足なのでしょうか？

清水あつし



明治10年・旧「東京大学」跡地の学士会館

名建築の歴史に敬意をこめ、守り・伝えるために

「千代田区民の声を届ける会」（千声会）は、地域のよい環境を守り、より良いまちづくりを進めるために行政や議会に区民の声を届けるべく、有志を中心に立ち上げた会です。千代田区では近年、地域の人々の様々な声を十分に吸い上げず、住民に対する説明やその手順も不十分なままで、一部事業者の優遇や、開発ありきとしか思えないような地区計画の変更・地域開発を、強引と言わざるを得ないやり方で進めています。

私たちは、地域の一人ひとりが持つ多様な意見を交え、より豊かな地域を一緒につくっていきたくて考えています。その声は小さくても、集まれば力になります。その第一歩として、「千声会」はこの「かわら版」を作りました。手に取ったみなさまが、ふと立ち止まり一緒に考えてくださることを願っています。そして、一緒に住みよいちよだをつくりませんか。

大切なのは採算ではなく、納得と共感

区民の声（番町在住）

「教育と文化のまち千代田区」にふさわしい、歴史ある学士会館が一部でも保存されるようで一安心していたら、議会傍聴席からこんな話が聞こえてきた。「区道があるので大きな建物は建たないと思って家を買ったのに、『区道は廃止になり目の前に超高層ビルが建つ』と聞いてびっくりしているんです」。それは驚く。ひとごとではないと調べてみた。

◆◆◆
学士会館（千代田区神田錦町3-28）は、1928年（昭和3年）、有名建築家、高橋貞太郎の設計で建造された歴史ある建物で、国の有形文化財に指定されている。同氏は重要文化財である神宮外苑の絵画館や高島屋日本橋店などを手掛けた人物である。

千代田区議会の資料によれば、学士会館の場所は「東京大学発祥の地。明治期には名だたる官学・私学が集まり、神保町に日本最大の古書店街が形成されるきっかけともなった。その歴史を今日に伝える上でも貴重な景観。」とある。
学士会館の所有者である学士会は、築100年になる建物の

老朽化への対応と、西側に接する白山通りの拡幅（※）への対応を同時に行うために、未利用の容積を東側隣地の住友商事側に移転して共同でビルを建設し、建築コストと旧館の維持費を賄おうとしている。そのために、その間にある区道を廃止して広場に付け替え、外観は曳家して保存するということを望んでいる。

千代田区議会は「学士会館の保存のために最善を尽くしての考えであるならば、区道廃止と付け替えは理解ができる」という点では論調が一致している。しかし、ここは北側に住居がある。圧迫感のあるビルが建つことに戸惑いが広がった。区道を廃止する見返りに北側に広場を集約して住宅から距離を置けなくなら、周辺の建物より大幅に高い計画（12.55m）になる可能性があるのだ。

最善を尽くすとすると、事業者は堂々と高さを示す図や模型などを示し住民に説明すればよいものを、していない。千代田区も、区道廃止を認めるのなら、事業者と住民の間を調整して、オープンな話し合いを後押しするのが仕事のはずだが、立

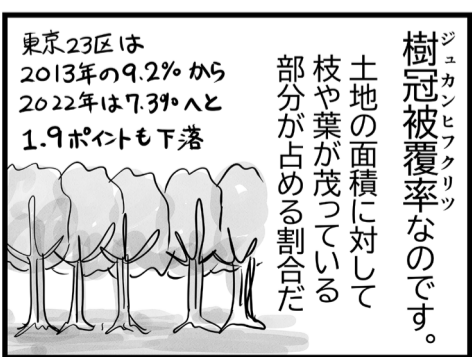
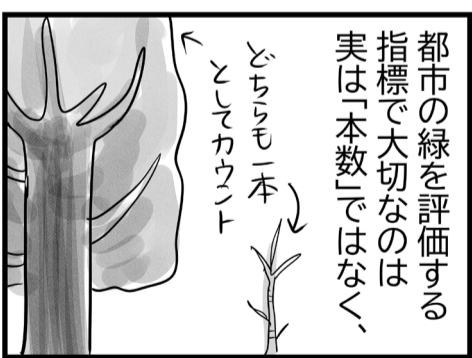
ち上がらない。特に事業者は区道廃止で自社の事業採算が上がるので、区民に対して納得と共感を与える、一層丁寧な説明をする必要がある。
こうした再開発優遇の動きが千代田区内のあちこちで起こっている。ノスタルジーに浸るだけではなく、自分ごととして注目していきたい。

※白山通りの拡幅事業は昭和21年終戦直後の決定事項である。区はこれについても今日的な意味を説明する必要があるのではないだろうか。



環境まちづくり委員会 令和6年6月11日資料より

再開発問題のデパート千代田区
大事なのは木陰！
ぼろごなつこ



東京23区は2013年の9.2%から2022年は7.39%へと1.9ポイントも下落
ジュカンヒフクリツ
樹冠被覆率なのです。
土地の面積に対して枝や葉が茂っている部分が占める割合だ

この問題 千代田区の弁護士はこう見えています



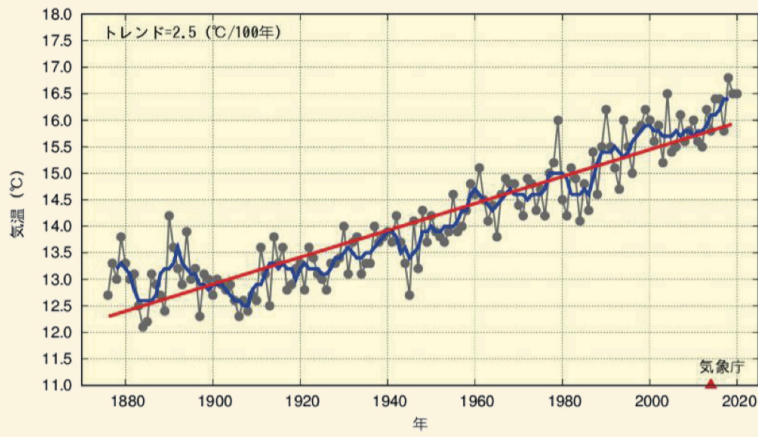
東京千代田法律事務所 弁護士 大城 聡

今年6月、学士会館の再開発について学士会から千代田区長に書面が提出されました。学士会館に隣接する区道を廃止して広場に付け替えてほしいとの要望です。区道を廃止すると約571mの区有地になります。
この区有地を再開発が必要とする学士会が買い取るのではない点のみが疑問です。
区は適正価格で売却することも真摯に検討すべきです。区道廃止して再開発がなされると北側のマンションの眺望への影響が懸念されます。神保町駅と神田警察通りをつなぐ区道です。区道廃止に関して近隣住民の意見が十分に考慮されているかという点も疑問です。
学士会側には区の都市計画審議会の岸井隆幸会長も名を連ねています。都計審会長が区道廃止と広場付け替えの要請を行えば、区は断りにくいのではないのでしょうか。これは公正さの問題です。文化財保護や景観維持の意義があっても水面下で癒着があるのではないかという疑念を持たれないようにすることが大切です。

千代田区が丸見え！おもしろデータ

東京(千代田区)では年平均気温が100年あたり約**2.5°C**上昇しています。

東京(千代田区)の年平均気温



観測場所の移転による影響を補正したデータを使用しています。

今年の夏は暑かったですね。気象庁のデータによると、今年には35°C以上の猛暑日が6月から8月の3か月間で19日、30°C以上の真夏日に至っては61日もありました。

また、9月18日には、「東京」で35・1°Cを観測し、統計開始以来、最も遅い猛暑日を記録するなど、正に命の危険を感じる暑さでした。

ちなみに、この「東京」の気温と言う時の気象観測地点は千代田区であることをご存知でしょうか。2014年までは大手町の気象庁本庁の敷地内で観測していましたが、将来的に長く観測できる場所ということで、北の丸公園内に移って観測しています。

ちよだカフェで講演して頂いた三上岳彦先生によると、千代田区の暑さを語る時、地球規模の温暖化の影響に加え、都市特有のヒートアイランドの問題を考慮する必要があるとのこと。ヒートアイランドの特徴は、夜になっても気温が下がりにくいことで、主な原因は次の3つだそうです。

- ①ビルの空調や自動車などの人口排熱が増えること
- ②アスファルトなどに覆われた地面が熱をため込むこと
- ③中高層ビルが密集することで海風が通らないうこと

そして、対策として大事なことは、「水」と「風」と「緑」だそうです。

- ①水面を増やすこと
- ②風の道をつくること
- ③街路樹や公園を増やすこと

私たちが疑問に思っている街路樹の伐採や、超高層ビル・大規模再開発の問題も、ヒートアイランド現象の原因に大きく関わっていることがわかりました。

出所：東京管区気象台
<https://www.data.jma.go.jp/tokyo/shosai/chiiki/kikouhenka/leaflet2021/pdf/tokyo-l2021.pdf>

第5回

「ジェンダー・ギャップ指数」156カ国中118位の日本、千代田区はどうする？

ちよだカフェ

11/5 (火) 19:00 ~

会場：神保町区民館 参加無料！
 千代田区神田神保町2丁目-40



若者・女性の政治参加から考える もっと良くなるちよだの未来



【講師プロフィール】
能條 桃子 [のうじょう ももこ]

1998年生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。慶應義塾大学院経済学研究科修士。20代の投票率が80%を超えるデンマークに2019年に留学したことをきっかけに、日本のU30世代の政治参加を促進する「NO YOUTH NO JAPAN」を設立し、代表理事を務める。20年に一般社団法人化。Instagramなどを利用したSNSメディアの運営や選挙の投票率向上に取り組む。

第1部では、日本社会に新しい風を吹き込む若手リーダーの能條桃子さんを講師にお迎えしてお話を伺います。能條さんは、若者の投票率が80%を超えるデンマークに留学した経験から、在学中に「No Youth No Japan」を立ち上げ、若者の声を社会に届けるための活動をされています。また、2023年の統一地方選では「FIFTYS PROJECT」を通じて大きな支持を集め、数多くの若年・女性議員を生み出しました。その能條さんに、日本における若者・女性の政治参加状況や能條さんの活動についてお話し頂きます。

第2部では、ちよだを大切に想う女性たちと能條さんとでパネルディスカッションを行い、「もっと良くなるちよだの未来」について語って頂きます。

「ちよだカフェ」には、千代田区のことをよく知る弁護士の大城聡さん・久道瑛未さんが毎回参加して下さいます。お2人は、常に住民の側に立ってさまざまな問題解決のために奔走する優しい弁護士さんです。



久道瑛未弁護士・大城聡弁護士

第4回 ちよだカフェ レポート

「千代田区のヒートアイランド現象～再開発のあり方と緑の効用～」(三上岳彦さん)の第4回ちよだカフェでのお話も大好評でした。ご参加くださった方々の感想の一部をご紹介します。「ちよだかわら版やこうした市民の勉強会は素晴らしい試みだと思います」「こうした活動があるのを初めて知った。生活に直結し、考えていて知っていかないといけないので良い機会でした」「とても勉強になり興味が大変わいてきました。これからも勉強していきたいと感じます」「多くの区民が、かわら版等により、区のまちづくりの姿勢に気づいてほしい」「日々の勇気ある行動に感謝します」「都市の歴史を重視して再開発をするべき。計画ありきではなく住民の声を広く先に聞くべき」……ご意見、ご参加、本当にありがとうございました！



ちよだカフェ予告

第6回 **12/9** (月) 19:00 ~

※場所・内容は
決定次第お伝えします。

議会傍聴のお誘い

第4回千代田区議会定例会が始まります。傍聴してみませんか？場所は区役所8階、事前申込不要、入退室は自由です。

(11月1日 企画総務委員会 / 11月5日 環境まちづくり委員会 / 11月21日より第4回定例会)

代表・一般質問や一部委員会はライブ中継(録画)をやっていきます。ライブ中継は、右のQRコードからご覧いただけます。

※詳細につきましては、事前に区議会のHPをご確認ください。<https://gikai-chiyoda-tokyo.jp>



ライブ中継

生活の質・住環境を更に良くするために、あなたの声を聞かせてください

私たちが目指す千代田区

- 1、歴史・教育・文化を大切にする“まち”
- 2、いつまでも住みたい、そして住み続けられる“まち”
- 3、一人ひとりが尊重され、区民の声が届く“まち”



代表 堀義人



千声会 HP